

事業部（健康レクリエーション事業）総括

アクアドーム

第二期指定管理期間初年度であり、①健康づくり拠点としての機能強化、②一般利用者の増加、③宗像市関連部署との連携強化を念頭に業務に取り組んだ。

健康増進施設・指定運動療法施設の認定継続（平成23年～平成33年）を行うなど、利用者が安心して利用できる施設運営に努めた。

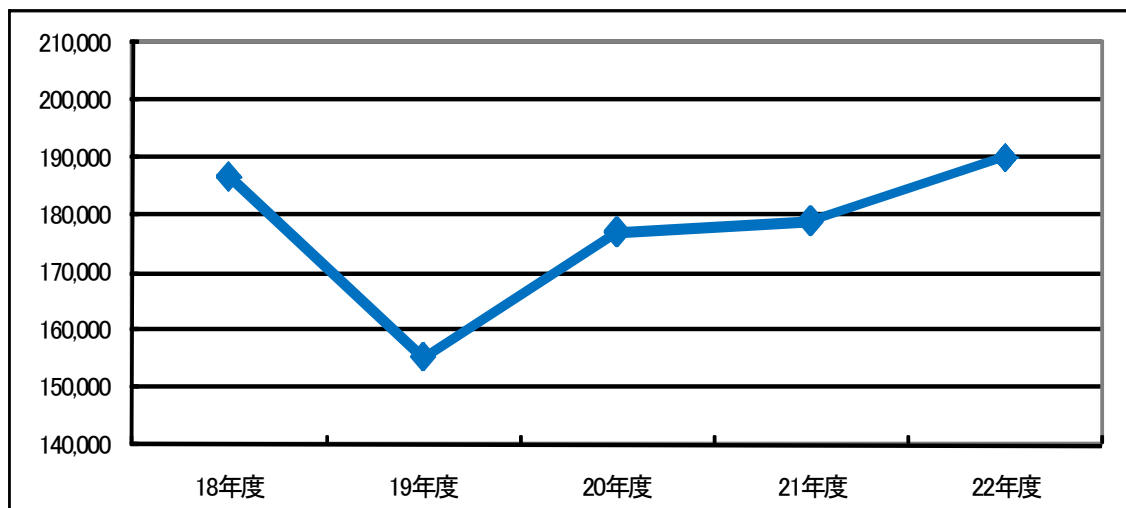
健康づくりの拠点としての機能強化のため、ウェルネスクラブ会員の40歳未満種別の新設を行った結果、9月以降で16人の入会者となり、順調な滑り出しとなった。また、新規プログラムとして、「男のクッキング」「おばあちゃんの知恵袋」を企画し実施した。

一般利用者の増加については、宗像3大学2高校の優待利用のスタートや、広報紙での告知強化などを積極的に行った。

温水プール・トレーニングジムの利用者は、夏季の天候もよく、年間を通じて前年より人数が多かった。同様にゆ〜ゆ〜プールも、天候に恵まれ平成13年度以来の5万人を超える利用者が来場した。

宗像市関連部署との連携強化については、健康づくり課と連携した派遣指導業務や特定保健指導に取り組んだ。

[アクアドーム利用者数]



(単位:人)

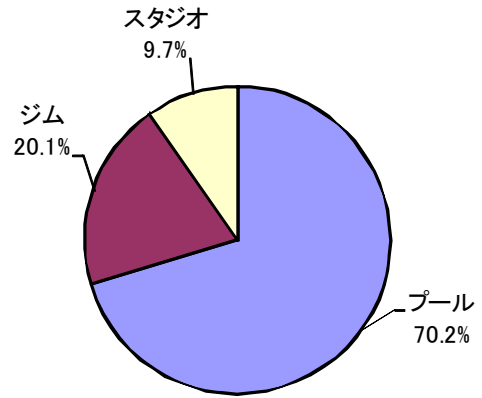
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
入場者数	186,630	155,119	176,890	178,892	189,953
対前年比	102.9%	83.1%	114.0%	101.1%	106.2%
対18年比	-	85.6%	94.8%	95.9%	101.8%

※平成19年度は改修工事による2ヶ月間営業休止のため、実稼動10ヶ月間での入場者数

■ 施設別利用人数

アクアドーム年間利用者数 189,953 人のうち、プール利用者は 133,469 人であり、アクアドーム全体の約 70.3%を占めた。

施設別に 21 年度と比較すると、プール利用者数 6,903 人増 (105.5%)、ジム利用者数 2,974 人増 (108.5%)、スタジオ利用者数 1,184 人増 (106.9%) であった。その結果、アクアドーム全体では 11,061 人増で 21 年度比 106.2%であった。



■ 利用種別状況

利用種別で見ると、プール利用者全体のうち個人・団体・回数券の利用割合は 31.9%、年間券は 56.3%であり、スイミングスクール・ウェルネスクラブ等の主催事業に係る利用は 11,274 人で全体の 8.4%となった。

トレーニングジム一般利用者の中では、ウェルネス会員の割合が高く、その他主催事業の利用が 72.7%を占めた。

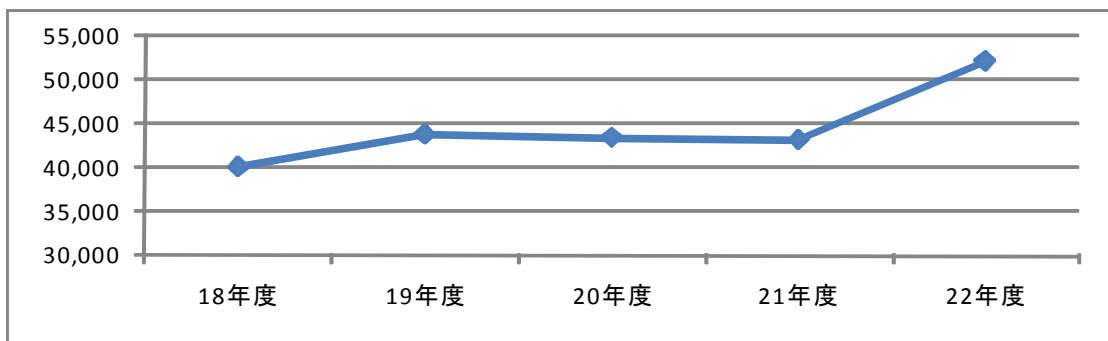
スタジオでは、宗像文化サークルを含めた一般利用 8,109 人 (44.1%)、エアロビクス等の公社事業 10,264 人 (55.9%) となっていた。

ゆ～ゆ～プール

今年度の営業は、7月3、4日と10、11日を先行営業し、通常営業は7月17日より8月31日の計50日間であった。台風で1日営業を中止した。

総入場者数は 52,165 人 (1 日平均約 1,065 人) で、前年度の 43,194 人 (営業日数 48 日間、1 日平均 900 人) と比べると 8,971 人増 (120.8%) であった。

[ゆ～ゆ～プール利用者数]



(単位: 人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
利用者数	40,038	43,745	43,476	43,194	52,165
対前年比	88.5%	109.3%	99.4%	99.4%	120.8%

今年も特別企画として平日3時以降の入場料を半額にする「ゆ〜涼み割引」を実施した。

ゆ〜涼み割引の入場者は8,551人（1日平均295人）、お弁当プラン利用者は731人、アクアヌードル貸出は379件であった。

パットゴルフ場

今年度利用者数は5,733人で、前年度に比べて1,008人減少した。

3月にペアパットゴルフ大会を開催した。定期的な開催を望む声が非常に多いため、次年度は積極的に取り組みたい。また、芝生広場全体の安全管理に努めた。

[パットゴルフ利用者数] (単位：人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
利用者数	6,856	6,627	6,274	6,741	5,733

その他屋外施設等

多目的広場は、本館で多数の来館が予測されるイベントがあるときはあらかじめ臨時駐車場として確保している。また、平成19年にJR九州ラグビー部と宗像市の協定が締結され、多目的広場がメインの練習会場となっている。その他の利用としては、少年サッカークラブの練習などがある。

芝生広場・サーキットトレーニングコースでは、市内だけでなく近郊の幼稚園・小中学校から遠足などで来園されている。土・日・祝日には家族連れの来園が多い。

パットゴルフ場隣りにあるわんぱく広場は、近年遊具類の老朽化などで魅力が少なくなっているが、平日においても幼児を連れた多くの親子連れにとって憩いの場となっている。

プレイ広場では、ラジコンやスケートボードなどの利用がおこなわれている。

健康づくり事業

利用者に対する健康づくり運動・レクリエーションスポーツ・生涯スポーツの普及に努めた。

健康づくり事業のメイン事業であるユリックスウエルネスクラブとスイミングスクールでは、会員・受講者の健康維持増進・健康支援を行うとともに、会員の獲得・継続・利用促進に力を注いだ。

■ ウエルネスクラブ

健康づくり・体力づくりの推進及び施設利用の促進を目的とした「ユリックスウエルネスクラブ」は、今年度末会員数が237人となり、前年度末の221人に比べて16人増加した。増加の要因は平成22年9月より新たに実施したウエルネスクラブ40歳未満の入会者によるものである。

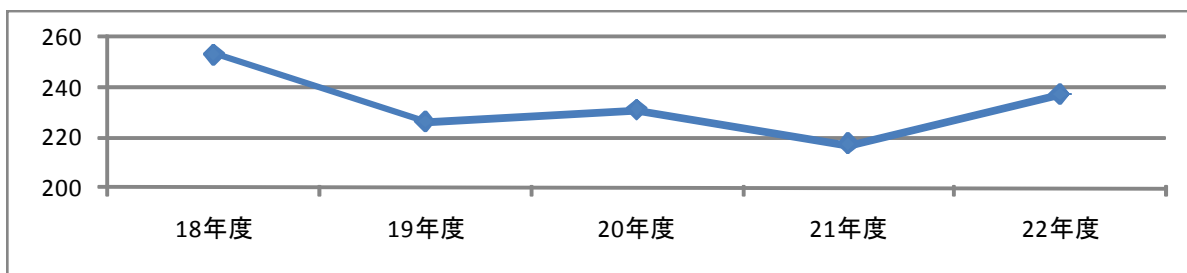
特定保健指導アクアドームプログラム（6ヶ月間、月1回の個別指導）を実施した。年度末の3月までに6ヶ月間終了したのは4人であった。

ウエルネスクラブの会員増に向けての施策として、この特定保健指導アクアドームプログラム

に参加された人、及び他の積極的支援プログラム参加者に対して、アクアドームを使用した運動継続を促すとともに、ウエルネスクラブの入会をお願いするにあたって入会金割引の特典を実施した。

アクアドームは「指定運動療法施設」に認定されており、ウエルネスクラブの会費が所得税の医療費控除対象になることから、本年度は、2人の会員が医療機関からの運動処方箋に基づいた運動を実施した実施証明書を添えて、還付申請をされた。

[ウエルネスクラブ会員数]



(単位：人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
ウエルネスクラブ会員数	253	226	231	221	237
対前年比	100.4%	89.3%	102.2%	95.7%	107.2%

■ スイミングスクール

ウエルネスクラブと並ぶ健康づくり推進事業のスイミングスクールについては、週1回コースを21クラス、週2回コースを1クラス、3ヵ月を1期として年間3期行った。利用者数は11,274人と前年度11,773人に比べ499人（前年比95.8%）減少となった。

利用者の中には10年間受講されている人もあり、今後は利用者の高いレベルに対応できるようにインストラクターの指導力向上に向けた取り組みが重要となってくる。泳法指導以外の「らくらく膝腰運動」や「水中ウォーク」などの教室で、高齢者や泳げないでプールが苦手な人にも気軽に健康づくりのできる教室展開を図っている。

介護保険課との共同事業である「介護予防水中運動教室」を週一回、営業時間前に行っている。本年度の参加者は16人であった。運動経験の少ない人が定期的な運動を始めるきっかけになり、介護予防につながる事業である。

■ スタジオプログラム(エアロ・ダンスプログラム、ショートプログラム)

エアロ・ダンスプログラム利用者数は8,525人（前年7,506人、113.6%）、ショートプログラムは1,356人（前年1,413人、96.0%）、計9,881人（前年8,919人、110.8%）と人数が増加した。

アクアドームのような総合フィットネス施設におけるエアロ・ダンスプログラムは水泳・ジムトレーニングと同様に人気のある運動プログラムのひとつであり、特に若い女性層の取込みには欠かせないため、魅力ある教室を開催していきたい。

また、ジム利用者が自由に参加できるショートプログラムを開催した。プログラムは20分間で、「ストレッチ」、「筋力トレーニング」を指導員が行った。参加者数が減少しているため、新規内容などの検討を行っている。

■ 健康づくり教室

陸上の健康づくり教室として、芝生広場など屋外施設を利用したウォーキング教室と一般利用者も参加できる調理実習を行った。

ウォーキング教室を年3期実施した。受講者数は年間30人で前年度の45人に比べ、15人少なかった。

調理実習は年間9回実施し310人の参加があった。前年178人に比べ132人多かった。増加要因は新たにスタートした「男のクッキング」、「おばあちゃんの知恵袋」によるものである。

食材の選び方や分量を確認しながら調理し、食と運動による健康づくりを積極的に提案した。

[男のクッキング]

男性の多くは自炊の習慣が少なく食事の面からの健康づくりに関心をもっていない人が多いが、自炊で自己の健康管理ができるようになることも必要と考えられる。

また、運動と食事の両面からの健康づくりを考え、調理と栄養について学ぶことも重要なことから、60代～80代男性を対象とした調理実習教室を実施した。

第1回：9月15日（水） 15人 「コレステロールを上手に下げるときの食事と運動」

第2回：11月2日（火） 16人 「疲労回復のための食事」

第3回：1月14日（金） 13人 「おいしく満腹！ダイエット食」

第4回：3月8日（火） 15人 「血糖値をコントロールするための食事」

[おばあちゃんの知恵袋]

日本古来の食の伝統を若い世代へ伝えることや、食と運動のつながりを伝え利用促進へとつなげることを目的とした。

第1回：6月30日（水） 16人 「うめぼし」

第2回：7月8日（木） 15人 「らっきょう」

第3回：11月11日（木） 17人 「味噌作り」（正助ふるさと村スタッフと共同）

[その他・利用者数]

（単位：人）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
スイミングスクール	13,127	8,922	11,821	11,773	11,274
スタジオプログラム利用者	9,846	7,637	8,319	8,919	9,881
健康づくり教室利用者	601	434	564	641	735

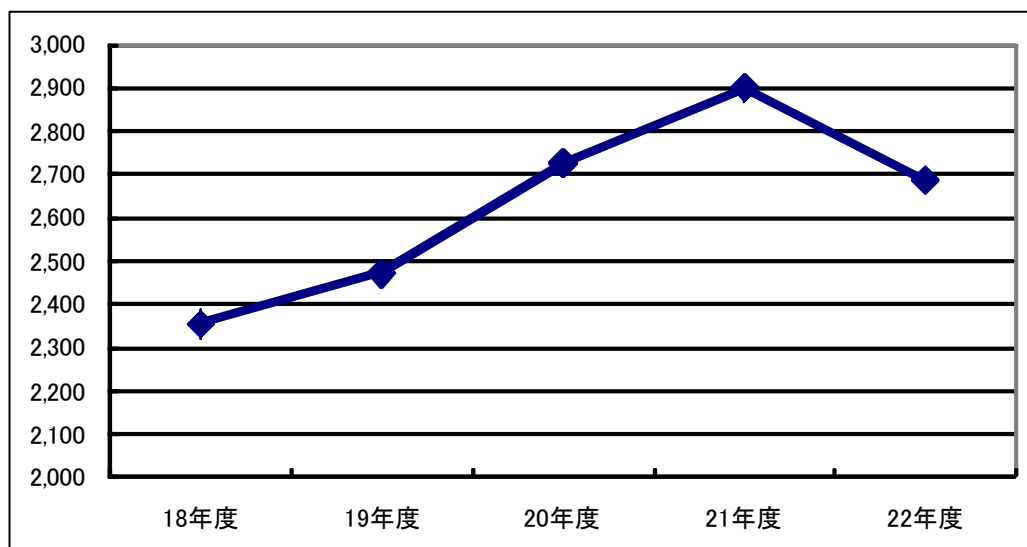
スポーツイベント

南ゾーン各施設の利用促進とスポーツ・レクリエーションの振興のために各種のイベントを実施した。ほとんどが屋外イベントで天候などに左右されやすいが、中止ではなく延期で対応している。

24時間EKIDENや12時間耐久スイムは、アクアドームの利用者を中心としたボランティア団体が大会運営をするなど市民参加型のイベントとして根づいている。

今年度は経費負担の大きい小学生 3ON3 大会を中止した。そのため、イベント参加者数が 300 人近く減少した。

[スポーツイベント参加者数]



(単位：人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
24時間耐久EKIDEN					
参加チーム数	91	89	99	101	100
参加者数	1,702	1,792	1,898	2,115	2,154
12時間耐久スイム	213	240	247	261	259
テニス(ペア数×2)	90	116	92	80	86
小学生3ON3大会	266	233	399	361	-
バスハイク	83	90	87	80	84
合計(参加者)	2,354	2,471	2,723	2,897	2,583
対前年比	96.1%	105.0%	110.2%	106.4%	89.2%

※H22年度から小学生3ON3大会を廃止

[第16回24時間EKIDEN] (4月24日～25日)

実行委員会形式とし、ボランティア団体中心の大会運営となって好評であった。

周回の計測を、集計チップでの計測し、スムーズに大会を運営することができた。チーム登録料は1チーム20,000円を徴収した。芝生広場の外周(850m)を1チーム(5～30人)で一本のタスキをリレーしながら、24時間(休憩自由)で走った距離を競う。

有料参加は100チーム(2,154人：一般1,904人、中・高校生113人、小学生137人)あり、前年度101チーム(2,115人)より1チーム少なく、39人の増加での開催となった。

〔 第 22 回ユリックスカップ・テニストーナメント 〕 (5月15日)

宗像ユリックス開館時からのスポーツイベントとして開催。雨天の場合や参加者の負担などを考慮し、予選リーグと決勝トーナメントを1日で終了するためにペアの参加で開催した。

今大会は、当初定員としていた81ペアが埋らず、43ペア、86人で大会を実施した。

今年度の参加対象者やトーナメント方法は、男子ダブルスB12ペア・C10ペア、女子ダブルスB11ペア・C10ペアで実施した。

〔 第 19 回 12 時間耐久スイム 〕 (11月27日～28日)

24時間EKIDENと同様、実行委員会形式でボランティア中心の運営を行なった。

温水プールの営業時間外の夜間(22:00～10:00)を使い開催している。毎年、九州各地から参加があり、温水プールが7コースで35チームしか参加できないという制限もあり、根強いリピーターが受付初日から申込みのような人気のある大会である。

今年度は35チーム(鉄腕の部10チーム、エンジョイの部25チーム)有料参加者数259人であった。

アクアドームでもウェルネス会員やスイミングスクールの教室受講生がチームをつくって参加し、日頃のトレーニングの成果を競技とは関係なく、楽しんでいる大会である。

〔 ウォーキングバスハイク 〕

仲間づくりをメインにした健康づくりセミナーと運動の実践そして食事と温泉を利用した休養というタイプのトータル的な健康づくりの提案を行なうことで多くの市民に健康づくりを始めるきっかけとなることを目的とした。

第19回：日時：6月16日(水) 目的地：宮崎県高千穂

参加者42人(男性：7人、女性：35人)

第20回：日時：11月3日(水) 目的地：長崎県長崎

参加者42人(男性：9人、女性：33人)